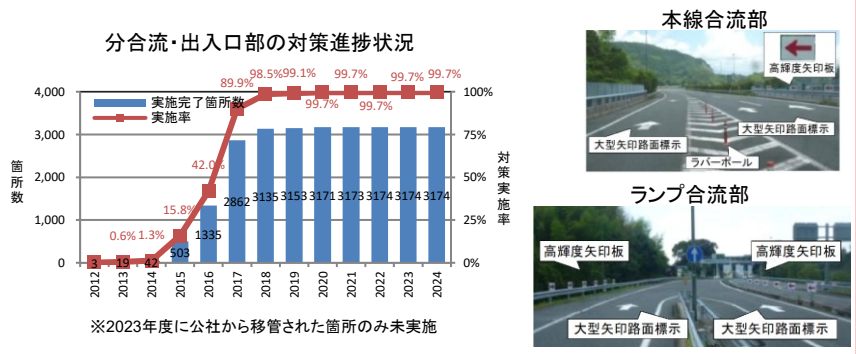


Ⅱ．高速道路の逆走対策のこれまでの取組内容と 今後の対策について

全国統一的な基本的対策(矢印路面標示等)の実施状況

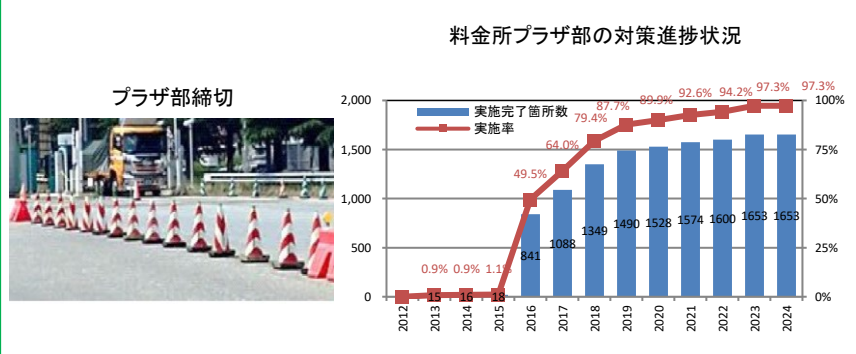
(1) 分合流部・出入口部への対策

- 高速道路会社管理区間の全てのIC・JCT・SAPA(3,182箇所)を対象に、大型矢印路面標示やラバーポール等の物理的・視覚的な対策を実施
- 2017年に9割完了、2024年末時点で99.7%完了



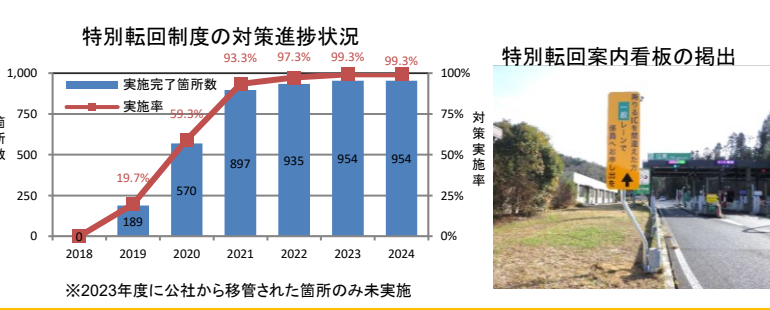
(2) 料金所プラザ部への対策

- 高速道路会社管理区間の全ての料金所(1,699箇所)を対象に、プラザ部の締切り対策を推進
- 2020年に9割完了、2024年末時点で97.3%完了



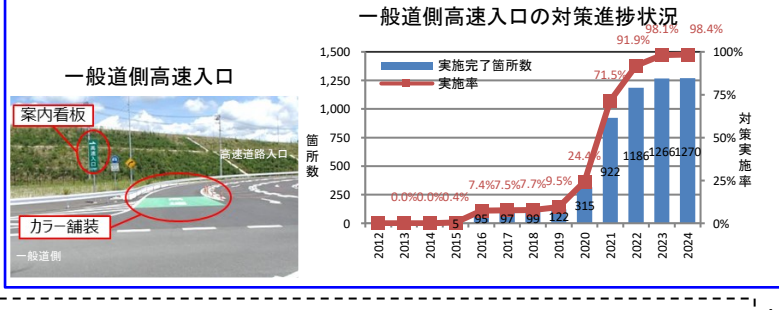
(4) 特別転回制度の案内強化対策

- 高速道路会社管理区間※の構造上対応可能な全てのIC(961箇所)を対象に、特別転回の案内掲出を実施
- 2021年に9割完了、2024年末時点で99.3%完了



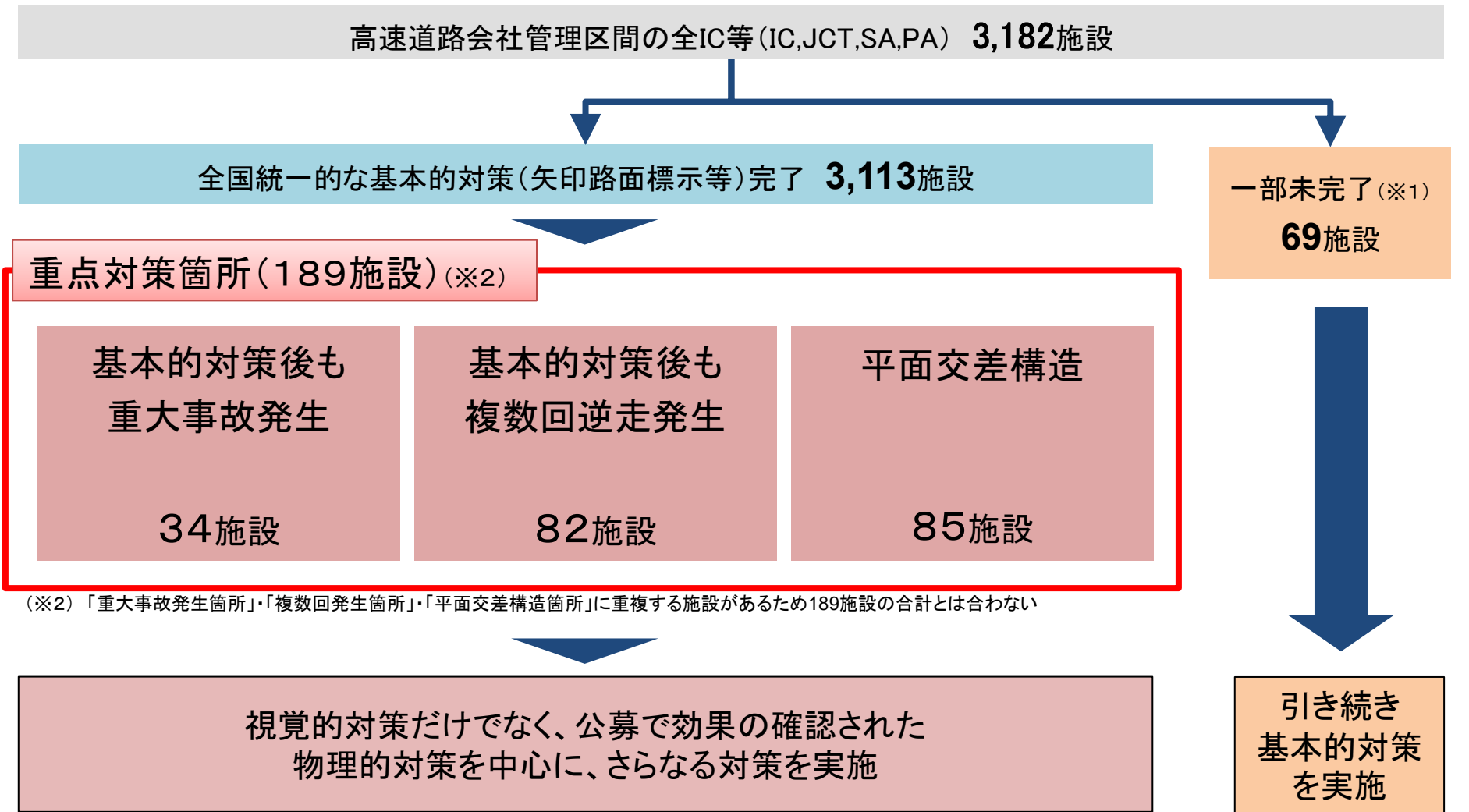
(3) 高速道路と一般道との接続部への対策

- 高速道路会社管理区間のうち一般道と接続する全ての箇所(1,290箇所)を対象に、一般道側に高速入路を案内する注意喚起看板やカラー舗装等の対策を実施
- 2022年に9割完了、2024年末時点で98.4%完了



重点対策箇所の選定

- 逆走対策については、2014年より全IC等で全国統一的な基本的対策（矢印路面標示等）を開始し、2024年12月時点で約98%のIC等で完了。
- しかしながら、未だに逆走事案件数が年間200件程度で推移していることを受け、対策の強化を必要とする「**重点対策箇所**」を全国189施設選定し、これまでの公募で効果の確認された技術も活用しさらなる対策を実施していく。



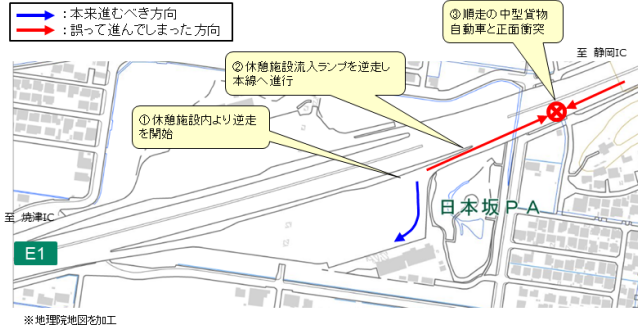
(※2) 「重大事故発生箇所」・「複数回発生箇所」・「平面交差構造箇所」に重複する施設があるため189施設の合計とは合わない

重点対策箇所の選定・対策実施方針

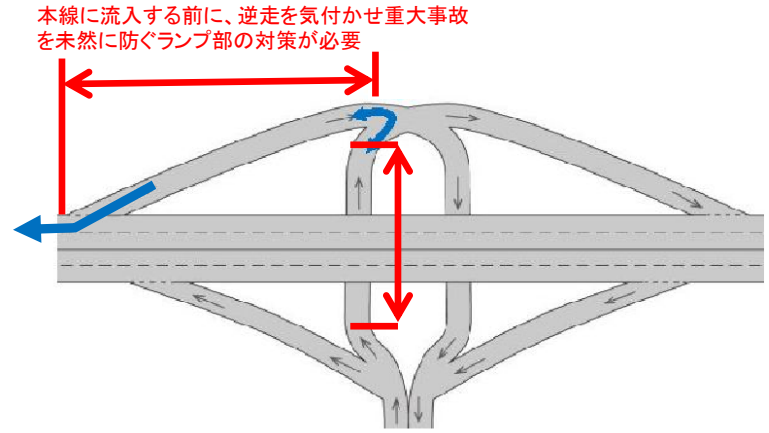
【重点対策箇所】

全国統一的な基本的対策(矢印路面標示等)をしても、なお発生している複数回の逆走事案や死亡事故等を踏まえ、逆走発生要因などから、個別に対策を強化する必要がある箇所（計189施設）

➤ 重大事故発生箇所の例 【計34施設】



➤ 平面交差構造の例 【計85施設】



➤ 複数回発生箇所の例 【計82施設】



平面Y型交差点部の構造は、比較的逆走方向に進入しやすい構造であり、本線流入前に逆走行為に「気付かせる」必要

【対策実施方針】

- ◆ 逆走事案個々の分析及び現地条件等を踏まえ、下記の対策内容を検討し、効果的な対策となるよう展開
- 【対策①】 全国統一的な基本的対策(矢印型路面標示・注意喚起看板・矢印板・ラバーポール・カラー舗装等)の追加
- 【対策②】 カタログ化した「道路側注意喚起技術」 10技術の活用（視覚的・物理的な注意喚起）

これまでの逆走対策公募技術（道路側注意喚起技術）

- 道路側注意喚起技術は、道路側で逆走車両に対して視覚的・物理的な注意喚起を行う技術。
- 実道での実証実験を通じて効果の確認された10技術について、2024年12月に技術カタログ化が完了している。
(逆走対策技術カタログ: https://www.e-nexco.co.jp/activity/reverse/policy_catalog.html)

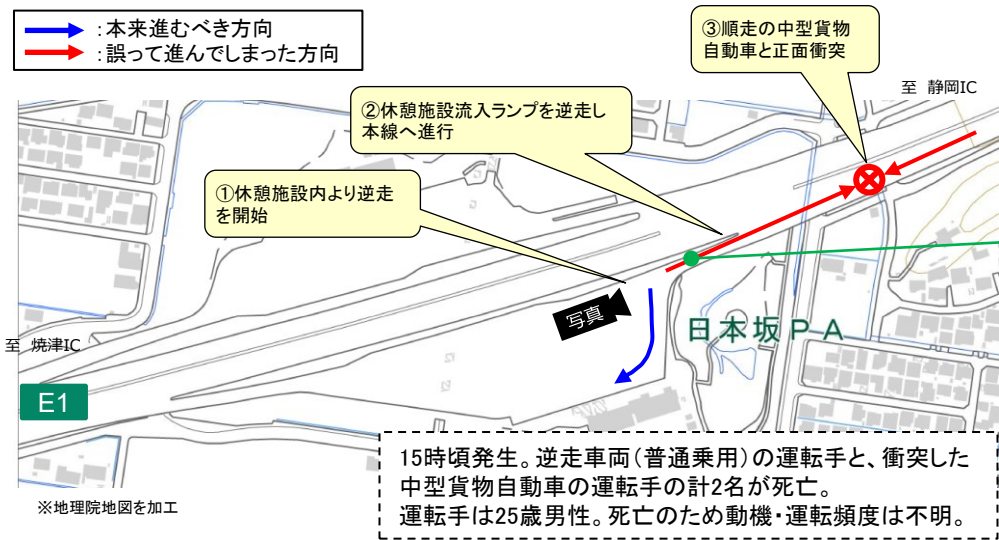
【道路側注意喚起技術(10技術)一覧】

テーマ	No.	提案技術	技術の概要	検証状況	No.	提案技術	技術の概要	検証状況
道路側注意喚起技術	1	ウェッジハンプ	舗装面にくさび型の非対称の段差(ウェッジハンプ)を設置し、衝撃により逆走車両に注意喚起するもの。		6	プレッシャーウォール	圧迫感を与える程度に大きい表示板を路側に連続設置し、逆走車両へ注意喚起するもの。	
	2	路面埋込型ブレード	路面に設置した突起物により逆走車両に衝撃を与え注意喚起するもの。突起物は順走時には路面下に沈み込む。		7	電光表示による逆走警告	逆走車両を検知するレーダー(マイクロ波センサー)と一体となった警告表示装置で逆走車両に注意喚起を行うもの。	
	3	錯視効果を応用した路面標示	立体的に見えるよう描かれた路面標示を施工し、逆走車両へ注意喚起するもの。		8	LED発光体付ラバーポールウィングサイン	既存のラバーポールに順走方向を示す文字・矢印を大きく表示するカバーをつけることで、逆走車両への未然の注意喚起を行うもの。	
	4	リバーシブル注意喚起板	壁高欄に山型形状の反射板を貼り、「逆走中」等の文字を表示し、逆走車両へ注意喚起するもの。順走車両からは視認できない。		9	開口部ボラード	料金所前後の通行分離帯の開口部をボラードで閉塞するもの。	
	5	防眩板応用注意喚起	中央分離帯に設置する防眩板を十字型形状にし「逆走中」等の文字を表示し、逆走車両へ注意喚起するもの。		10	エアバルーンによる逆走警告	センサーカメラにより逆走車両を検知し、「エア遮断機(NETIS)」改良の警告垂れ幕を展開し、注意喚起(および車両停止)を行うもの。	

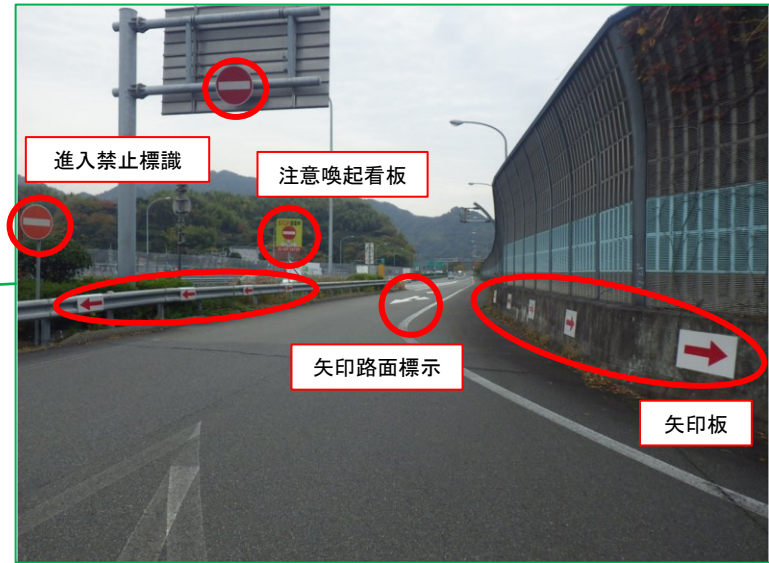
代表箇所の対策イメージ ～重大事故発生箇所の事例（東名高速道路 日本坂PA）～

- 東名日本坂PA(下り)では、これまでに矢印路面標示等の視覚的対策を実施済みであったが、当PAを起点とした逆走事故が発生し、逆走車両の運転手と、衝突した中型貨物自動車の運転手の計2名が死亡。
- 道路側注意喚起技術の視覚的対策・物理的対策の追加設置を検討する。

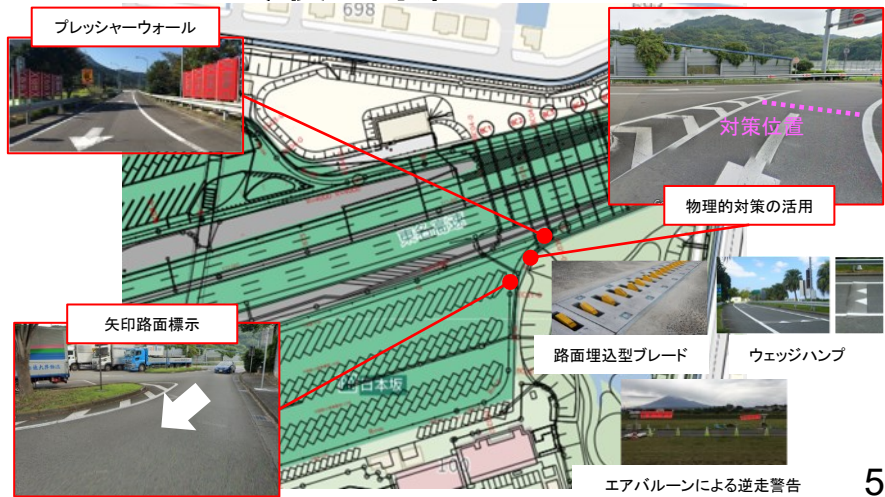
【東名 日本坂PA⑦】



<これまでの対策>



<今後の対策イメージ>



【逆走要因分析】

想定される原因	対策の方向性	対策内容(案)
本線への流入方向がわからず、休憩施設内を逆走してしまった	進行方向の明確化	矢印路面標示の追加設置
休憩施設流入ランプの逆走対策の見落とし	視覚的対策の強化、物理的対策の追加	プレッシャーウォール等の追加による強化、物理的対策の設置

代表箇所の対策イメージ ～複数回発生箇所の事例（北陸道 新潟西IC）～

- 北陸道 新潟西ICでは、案内看板やカラー路面標示などの対策を実施済みであったが、これまでに逆走事案が10件発生。このうち一般道から誤って高速道路に進入し、ランプ上や料金所手前で転回し逆走を開始する事案が7件発生。
- 誤進入後に、転回を禁止する注意喚起として錯視効果路面標示等を一般道側のランプに設置する対策を検討する。

【北陸道 新潟西IC】



<実施済み対策>



N	年齢	動機	性別	車種	高速道路利用状況
1	68	故意	女	乗用	ほとんど利用しない
2	85	過失	男	乗用	ほとんど利用しない
3	70	過失	女	乗用	ほとんど利用しない
4	54	故意	男	乗用	ほとんど利用しない
5	75	故意	男	軽貨	ほとんど利用しない
6	77	過失	女	乗用	初めて
7	19	故意	女	乗用	ほとんど利用しない

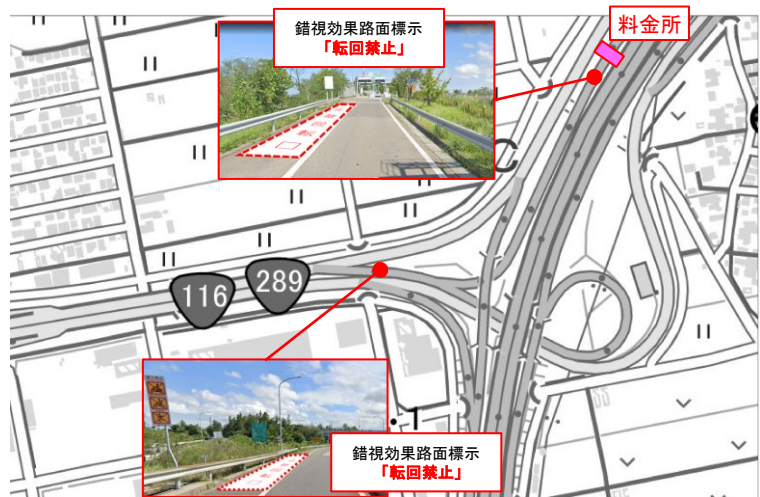
【逆走要因分析】

想定される原因	対策の方向性	対策内容(案)
料金所手前で転回すれば、一般道に戻れる(戻ってもよい)という先入観によるもの	転回を禁止するための注意喚起を強化	錯視効果路面標示



※錯視効果路面標示(対策例)

【今後の対策イメージ】

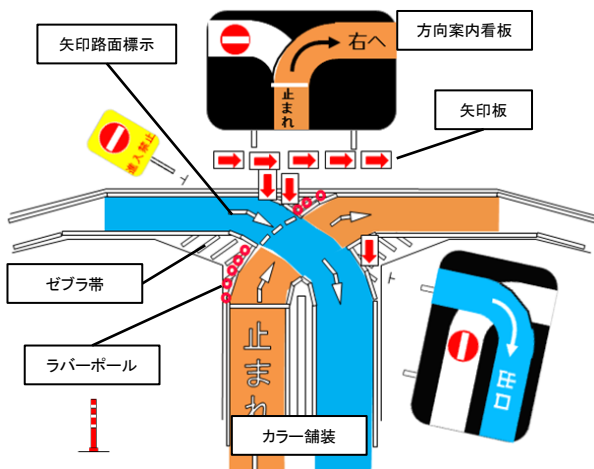


一般道の上流側では、高速道路への入口を認知できるよう、流入車線に「路面標示」による誘導標示を設置

代表箇所の対策イメージ ～平面交差構造の事例～

- 平面Y型構造は、カラー舗装、看板等による交差点部での案内・誘導に係る視覚的対策を実施済みであったが、交差点部から逆走を開始した可能性のある逆走事故が発生。
- 「自身の逆走行為を気付かせる、抑制させる」視覚的対策の強化・物理的対策の追加設置を検討する。

【これまでの対策内容】



【逆走発生事例】

＜死亡事故事例＞ 東北道 黒磯板室IC

- ■ ■ ■ ■ : 本来行きたかったと想定されるルート
- ■ ■ ■ ■ : 誤って進んでしまったと想定されるルート

【事例】幾つか想定されるルートがあるが、平面Y型交差点部は、対策は実施しているものの進行方向上の分岐によって、比較的逆走方向に進入しやすい構造



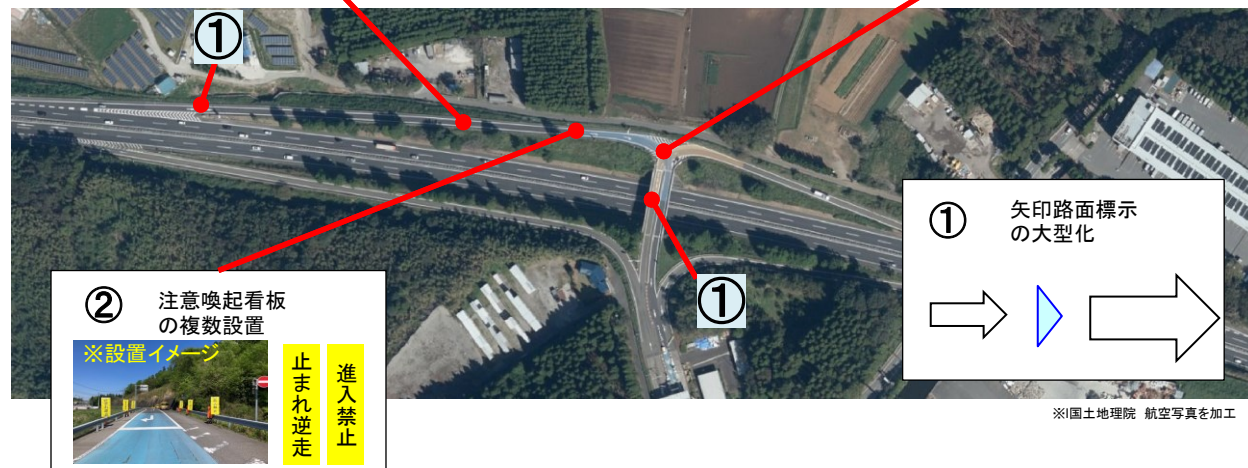
【属性】乗用車 42歳 男性 動機・運転頻度不明（※逆走開始地点不明）

【今後の対策(案)】

視覚的対策(例)



物理的対策(例)



	今後の追加対策(案)	適用時の留意事項
①	大型矢印路面標示	オフランプ・オンランプの縦断勾配による路面標示の見え方等に留意
②	注意喚起看板の複数設置	標示内容は、交通管理者との協議により決定
③	カタログ化をした「道路側注意喚起技術」の活用	物理的対策は、ランプの交通量や周辺環境(住居等の隣接有無等)、積雪寒冷地における除雪作業頻度等の現地条件を踏まえ適用を検討

重点対策箇所の一覧

会社	重大事故発生箇所	複数回発生箇所	平面交差構造	合計※
東日本	5施設 (関越道 湯沢IC等)	16施設 (北陸道 新潟西IC等)	49施設 (東北道 黒磯板室IC等)	66施設
中日本	11施設 (中央道 双葉SIC等)	13施設 (北陸道 敦賀IC等)	18施設 (北陸道 片山津IC等)	40施設
西日本	14施設 (長崎道 諫早IC等)	50施設 (松山道 松山IC等)	18施設 (東九州道 中津IC等)	76施設
本四高速	—	3施設 (瀬戸中央道 坂出IC等)	—	3施設
首都高速	—	—	—	—
阪神高速	4施設 (11号池田線 出入橋出口等)	—	—	4施設
合計	34施設	82施設	85施設	189施設

※ 「重大事故発生箇所」・「複数回発生箇所」・「平面交差構造箇所」に重複する施設がある(計12施設)

(参考) 重点対策箇所の一覧 ～重大事故発生箇所～

重大事故発生箇所

番号	道路名	施設名	会社名
1	東北自動車道	黒磯板室IC	東日本
2	東北自動車道	福島松川PA(下)	東日本
3	札幌自動車道	銭函IC	東日本
4	関越自動車道	湯沢IC	東日本
5	北関東自動車道	佐野田沼IC	東日本
6	東名高速道路	日本坂PA	中日本
7	東名高速道路	浜松IC	中日本
8	東名高速道路	音羽蒲郡IC	中日本
9	新東名高速道路	新秦野IC	中日本
10	伊勢湾岸自動車道	東海IC	中日本
11	長野自動車道	松本IC	中日本
12	中央自動車道	調布IC	中日本
13	中央自動車道	相模湖IC	中日本
14	中央自動車道	大月JCT	中日本
15	中央自動車道	双葉スマートIC	中日本
16	東海北陸自動車道	一宮木曽川IC	中日本

番号	道路名	施設名	会社名
17	名神高速道路	豊中IC	西日本
18	新名神高速道路	高槻IC	西日本
19	京都縦貫自動車道	篠IC	西日本
20	第二神明道路	高丸IC	西日本
21	第二神明道路	明石SA(上)	西日本
22	山陽自動車道	龍野西IC	西日本
23	山陽自動車道	早島IC	西日本
24	山陽自動車道	山口南IC	西日本
25	中国自動車道	下関IC	西日本
26	播磨自動車道	播磨新宮IC	西日本
27	高松自動車道・高知自動車道	川之江JCT・川之江東JCT	西日本
28	徳島自動車道	土成IC	西日本
29	長崎自動車道	大村IC	西日本
30	長崎自動車道	諫早IC	西日本
31	5号湾岸線	甲子園浜出口	阪高
32	11号池田線	出入橋出口	阪高
33	15号堺線	芦原出口	阪高
34	17号西大阪線	北津守出口	阪高

(参考) 重点対策箇所の一覧 ～複数回発生箇所～

複数回発生箇所

番号	道路名	施設名	会社名
1	東北自動車道	奥州スマートIC	東日本
2	東北自動車道	北上江釣子IC	東日本
3	札幌自動車道	札幌西IC	東日本
4	仙台東部道路	仙台港IC	東日本
5	日本海東北自動車道	新潟亀田IC	東日本
6	北陸自動車道	上越IC	東日本
7	北陸自動車道	新潟西IC	東日本
8	北陸自動車道	柏崎IC	東日本
9	東北中央自動車道	米沢北IC	東日本
10	館山自動車道	市原IC	東日本
11	秋田自動車道	横手北スマートIC	東日本
12	秋田自動車道	北上西IC	東日本
13	山形自動車道	宮城川崎IC	東日本
14	山形自動車道	庄内あさひIC	東日本
15	東関東自動車道	千葉北IC	東日本
16	首都圏中央連絡自動車道	茂原長南IC	東日本
17	東名高速道路	足柄スマートIC	中日本
18	名神高速道路	小牧IC	中日本
19	新東名高速道路	新富士IC	中日本
20	北陸自動車道	敦賀IC	中日本
21	北陸自動車道	小松IC	中日本
22	北陸自動車道	徳光PA	中日本
23	北陸自動車道	高岡砺波スマートIC	中日本
24	中央自動車道	恵那IC	中日本
25	中央自動車道	八王子IC	中日本
26	中央自動車道	談合坂SA	中日本
27	中央自動車道	大月JCT	中日本
28	東海北陸自動車道	一宮木曽川IC	中日本
29	東海北陸自動車道	岐阜各務原IC	中日本

番号	道路名	施設名	会社名
30	名神高速道路	栗東IC	西日本
31	名神高速道路	京都東IC	西日本
32	名神高速道路	京都南IC	西日本
33	名神高速道路	豊中IC	西日本
34	西名阪自動車道	郡山下ッ道JCT	西日本
35	阪和自動車道	和歌山IC	西日本
36	湯浅御坊道路	有田IC	西日本
37	京滋バイパス	笠取IC	西日本
38	第二神明道路	高丸IC	西日本
39	山陽自動車道	龍野西IC	西日本
40	山陽自動車道	岡山IC	西日本
41	山陽自動車道	福山東IC	西日本
42	山陽自動車道	河内IC	西日本
43	山陽自動車道	広島IC	西日本
44	山陽自動車道	大竹IC	西日本
45	中国自動車道	西宮北IC	西日本
46	中国自動車道	美作IC	西日本
47	中国自動車道	三次IC	西日本
48	中国自動車道	下関IC	西日本
49	山陰自動車道	斐川IC	西日本
50	米子自動車道	米子IC	西日本
51	瀬戸中央自動車道	坂出IC	西日本
52	徳島自動車道	脇町IC	西日本
53	高松自動車道	引田IC	西日本
54	高松自動車道	さぬき豊中IC	西日本
55	高知自動車道	立川PA	西日本
56	高知自動車道	南国IC	西日本
57	高知自動車道	伊野IC	西日本
58	松山自動車道	三島川之江IC	西日本
59	松山自動車道	新居浜IC	西日本
60	松山自動車道	いよ西条IC	西日本

番号	道路名	施設名	会社名
61	松山自動車道	川内IC	西日本
62	松山自動車道	松山IC	西日本
63	松山自動車道	大洲IC	西日本
64	今治小松自動車道	いよ小松IC	西日本
65	九州自動車道	若宮IC	西日本
66	九州自動車道	鹿児島IC	西日本
67	九州自動車道	八女IC	西日本
68	九州自動車道	太宰府IC	西日本
69	東九州自動車道	速見IC	西日本
70	東九州自動車道	大分光吉IC	西日本
71	東九州自動車道	延岡南IC	西日本
72	東九州自動車道	門川IC	西日本
73	宮崎自動車道	都城IC	西日本
74	長崎自動車道	鳥栖IC	西日本
75	長崎自動車道	東脊振IC	西日本
76	長崎自動車道	大村IC	西日本
77	長崎自動車道	諫早IC	西日本
78	長崎自動車道	長崎多良見IC	西日本
79	長崎バイパス	川平IC	西日本
80	瀬戸中央自動車	早島IC	本四
81	瀬戸中央自動車	坂出IC	本四
82	西瀬戸尾道自動車道	伯方島IC	本四

(参考) 重点対策箇所の一覧 ～平面交差構造～

平面交差構造

番号	道路名	施設名	会社名
1	東北自動車道	黒磯板室IC	東日本
2	東北自動車道	滝沢中央スマートIC	東日本
3	八戸自動車道	南郷IC	東日本
4	道央自動車道	豊浦IC	東日本
5	常磐自動車道	新地IC	東日本
6	常磐自動車道	常磐双葉IC	東日本
7	常磐自動車道	大熊IC	東日本
8	常磐自動車道	鳥の海スマートIC	東日本
9	日本海東北自動車道	庄内空港IC	東日本
10	日本海東北自動車道	酒田中央IC	東日本
11	日本海東北自動車道	酒田みなとIC	東日本
12	北陸自動車道	親不知IC	東日本
13	北陸自動車道	能生IC	東日本
14	北陸自動車道	名立谷浜IC	東日本
15	富津館山道路	富津竹岡IC	東日本
16	富津館山道路	富津金谷IC	東日本
17	富津館山道路	鋸南保田IC	東日本
18	関越自動車道	水上IC	東日本
19	関越自動車道	塩沢石打IC	東日本
20	上信越自動車道	東部湯の丸IC	東日本
21	上信越自動車道	坂城IC	東日本
22	上信越自動車道	豊田飯山IC	東日本
23	上信越自動車道	妙高高原IC	東日本
24	上信越自動車道	中郷IC	東日本
25	上信越自動車道	新井スマートIC	東日本
26	道東自動車道	千歳東IC	東日本
27	道東自動車道	むかわ穂別IC	東日本
28	道東自動車道	芽室IC	東日本
29	道東自動車道	池田IC	東日本
30	秋田自動車道	北上西IC	東日本

番号	道路名	施設名	会社名
31	秋田自動車道	横手北スマートIC	東日本
32	秋田自動車道	湯田IC	東日本
33	秋田自動車道	錦秋湖SA	東日本
34	山形自動車道	庄内あさひIC	東日本
35	山形自動車道	寒河江スマートIC	東日本
36	仙台南部道路	今泉IC	東日本
37	磐越自動車道	三川IC	東日本
38	磐越自動車道	田村スマートIC	東日本
39	東関東自動車道	四街道IC	東日本
40	深川・留萌自動車道	深川西IC	東日本
41	千葉東金道路	高田IC	東日本
42	千葉東金道路	中野IC	東日本
43	首都圏中央連絡自動車道	神崎IC	東日本
44	首都圏中央連絡自動車道	茂原北IC	東日本
45	首都圏中央連絡自動車道	茂原長南IC	東日本
46	首都圏中央連絡自動車道	市原鶴舞IC	東日本
47	首都圏中央連絡自動車道	下総IC	東日本
48	首都圏中央連絡自動車道	茂原長柄スマートIC	東日本
49	首都圏中央連絡自動車道	大網白里スマートIC	東日本
50	名神高速道路	安ハスマートIC	中日本
51	新東名高速道路	新磐田スマートIC	中日本
52	北陸自動車道	片山津IC	中日本
53	中央自動車道	上野原IC	中日本
54	伊勢自動車道	一志嬉野IC	中日本
55	伊勢自動車道	玉城IC	中日本
56	舞鶴若狭自動車道	若狭上中IC	中日本
57	舞鶴若狭自動車道	三方五湖SIC	中日本
58	舞鶴若狭自動車道	敦賀南スマートIC	中日本
59	東海北陸自動車道	美並IC	中日本
60	東海北陸自動車道	郡上八幡IC	中日本

番号	道路名	施設名	会社名
61	東海北陸自動車道	荘川IC	中日本
62	東海北陸自動車道	白川郷IC	中日本
63	東海北陸自動車道	五箇山IC	中日本
64	東海北陸自動車道	福光IC	中日本
65	中部横断自動車道	増穂IC	中日本
66	東富士五湖道路	山中湖IC	中日本
67	東海環状自動車道	岐阜三輪スマートIC	中日本
68	舞鶴若狭自動車道	小浜西IC	西日本
69	湯浅御坊道路	広川IC	西日本
70	京都縦貫自動車道	由良川PA	西日本
71	中国自動車道	作東IC	西日本
72	中国自動車道	勝央JCT	西日本
73	中国自動車道	美祢西IC	西日本
74	岡山自動車道	有漢IC	西日本
75	松江自動車道	雲南加茂スマートIC	西日本
76	松江自動車道	三刀屋木次IC	西日本
77	九州自動車道	小郡鳥栖南スマートIC	西日本
78	九州自動車道	みやま柳川IC	西日本
79	九州自動車道	宇城氷川スマートIC	西日本
80	九州自動車道	人吉球磨スマートIC	西日本
81	九州自動車道	始良IC	西日本
82	東九州自動車道	中津IC	西日本
83	東九州自動車道	安心院IC	西日本
84	東九州自動車道	都農IC	西日本
85	長崎自動車道	木場スマートIC	西日本

対策スケジュール(案)

本委員会時

【重点対策箇所の選定】
統一的な対策をしても、なお発生している複数回の逆走事案や死亡事故等を踏まえ、
逆走発生要因などから、個別に対策を強化する必要がある箇所

2025年夏頃

各対策箇所の実施内容の検討
実施スケジュールの策定

2025年秋頃

重点対策実施計画の公表【高速道路会社】
(各箇所の詳細な対策内容を定めた計画)

対策の着手※

※ 関係機関協議等により、対策内容・対策完了時期は変更となる場合がある。

概ね
2028年度内

重点対策箇所における対策完了